

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 9 日 作成

事務事業名		菊池地域希望の会運営活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	福祉課	担当者名	猿渡 祥子
	基本事業	53	障がい者支援体制の確保			所属班	障がい福祉班	(内線)	2134
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 : 12 コスト削減優先度評価結果 : 6
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和49 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 精神障がいの正しい理解と、障がい者に対する偏見・差別を是正するための啓発活動、家族同士の勉強会や悩みを話し合う活動を行っている菊池地域希望の会に対し、菊池地域2市2町でその活動を支援する。 【業務の流れ】 精神疾患についての正しい理解と障がい者に対する偏見・差別を是正するための啓発活動及び、家族同士の勉強会や悩みを話し合える場づくり等の活動を行っている「菊池地域希望の会」に対し、当市の負担金を支払う。(年1回) 【主な予算費目】 障害者福祉費 負担金									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
精神障がいの正しい理解と、障がい者に対する偏見・差別を是正するための啓発活動、家族同士の勉強会や悩みを話し合う活動を行っている菊池地域希望の会に対し、菊池地域2市2町でその活動を支援するため負担金を支払った。

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度と同様。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア活動回数	回
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア左記の者の数	人
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア活動参加延べ人数	人
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア介護支援を受けている障がい者一人当たりのサービス量	千円/月

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
希望の会会員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
会員相互の親睦を深める。また、精神疾患に関する理解を深める。会の運営が円滑に行える。

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
適切な介助支援を受けられる

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 トータル コスト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	44	44	44	44	44	44	44	
	(A) 事業費計	千円	44	44	44	44	44	44	44	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	50	50	
(B) 人件費計	千円	199	199	199	199	199	199	199	199	
トータルコスト(A)+(B)	千円	243	243	243	243	243	243	243	243	
活動指標	ア回	回	41	42	43	43	44	45	46	目 標 計 画 22 年 度
対象指標	ア人	人	40	40	40	40	40	40	40	
成果指標	ア人	人	338	143	145	249	200	200	200	
上位成果指標	ア千円/月	千円/月	104	135	123	135	135	147		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和49年に菊池地域精神保健希望の会が発足しており、その当時からの事業である。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
変化なし。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	菊池地域希望の会運営活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 経済的に家族会の活動を支援することにより、精神疾患に対する正しい理解の普及・啓発を支援することにつながる。そのことにより、精神障がい者が地域で不自由なく快適に生活することを支援していくことに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 菊池地域精神保健希望の会の活動を、菊池圏域の市町全体で支えている状況である。そのため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 この事業は、希望の会に対し支援を行うことを目的としており、現在の対象及び意図が適切であると考えられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 各市町の負担分として請求があった額を支払っている。よって、向上余地はないと考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 希望の会の運営が困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は現在のところない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各市町の負担分として請求があった額を支払っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支払い業務のみ。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 特定の個人ではなく、希望の会に対し負担金を支払っているため、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	経済的に家族会の活動を支援することにより、精神疾患に対する正しい理解の普及・啓発を支援することにつながる。そのことにより、精神障がい者が地域で不自由なく快適に生活することを支援していくことに結びついている。よって、今後も欠かすことのできない重要な事業である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)